

# ～酪農教育ファーム活動を通じて、命と農業の大切さを伝える。～

地域の子ども達が、酪農生産現場を体験

清水牧場（刈谷市）

酪農

【平成22年2月19日掲載】

刈谷市で酪農経営を行っている清水牧場（経営主：清水利一氏）を紹介します。清水牧場は酪農教育ファーム活動を行う「牧場」（酪農教育ファーム認証牧場）として、子どもたちに酪農を体験させ、命の尊さや健全な食生活のあり方を伝えることに積極的に取り組み、消費者と生産者の架け橋となったことが評価され、平成19年度に第37回日本農業賞特別部門 第4回食の架け橋賞を受賞されました。

## 1 酪農体験活動の始まり

今回、お話を伺ったのは利一さん、妻のほづみさん、長男の一将さんです（写真1）。

利一さんは、父親の久米夫さんが創業した清水牧場を運営するため、昭和52年に就農された。現在、規模は総頭数200頭で、内訳は経産牛110頭、育成牛60頭、肥育素牛30頭です（写真2）。

牧場の見学や体験の受け入れを始めたのは、平成4年に利一さんが、長男一将さんの小学校PTA役員を務めたのがきっかけです。それ以降、継続的に酪農体験活動を実施しています。



写真1 清水牧場 清水利一さん（中）  
ほづみさん（右）、一将さん（左）



写真2 牧場内の様子

## 2 酪農体験活動の内容

刈谷市内、唯一の酪農家である清水牧場は、市内を始め近隣市町の幼稚園、小学校、中学校、さらに乳製品メーカー社員、農業大学の学生、一般消費者に対して農場見学、体験の受け入れ、交流を行っています。

清水牧場は、酪農体験を実施するに当たって、観光農場のような専門のスタッフを置くのではなく、家族労力で行っています。特にほづみさん、一将さんは、酪農教育ファームファシリテーターとして専門の研修を受けて、ファーム活動を行う「人」として認定されています。

酪農体験で注目すべき点は、地元小垣江東小学校の4年生(約40名)が、2か月齢の子牛を小学校敷地内で約2か月飼育する総合学習です。飼育初日には「牛の入学式」が行われ、それから児童達の世話が始まります。飼育体験が終わって、子牛が清水牧場に帰ってきた後も、世話をした児童達が牛に会いに来て再会を楽しんでいます。

次に注目すべき点は、中学生の酪農体験です。職場体験の一環で、4人の希望者(男子2、女子2)が、1グループになって、5日間、毎朝5時45分に牧場に集まり、搾乳、えさやり、牛の手入れ、バターづくり、時には分娩や去勢作業に立ち会います。

## 3 酪農体験活動を通じて

酪農体験活動の目的について伺ったところ、ほづみさんは「生産現場を正しく理解してもらうことが大事。そこで食と命の大切さがわかる。また体験することで人間関係の勉強になる。」と語られました。また「中学生による5日間の酪農体験では、初日の朝、20分だけ作業の説明をする。あとは細かい指示を出さず、子ども達に考えさせる。こちらからは、何も言わない。知りたかったら、自分で動くように仕向ける。」「3日目になると、中学生達は自分で考えて行動できるようになり、最終日にはすごい変わり方になる。」と楽しそうに語られました。このことから酪農教育ファーム活動は、体験学習活動により、子ども達の思考力・判断力・表現力などの育成にも活かされていることがわかりました。清水牧場では、平成19年度に男性従業員を1名雇用しました。その彼は、清水牧場での体験がきっかけになり非農家でありながら、農業高校、農業大学を卒業し、現在に至っています。

## 4 将来の夢

将来の夢を伺ったところ、利一さん、一将さん2人とも「40年経過した牛舎を更新したい。また、フリーストールにかえていきたい。」、特に一将さんの夢は「経産牛の数を3倍にして、規模拡大をしたい。牧場を見学しやすいように、改善したい。」と語られました。

また、ほづみさんは、「子ども達や大人が集える場所を提供していきたい。そこで野菜作りなどの交流を通じ、みんなで騒いで大人から子どもへ技術を伝えることができればいい」と大きな夢を語っていただきました

(写真3)。



### 写真3 将来の夢を語る清水さん家族

#### 酪農教育ファーム認証牧場

酪農の生産現場である牧場を教育の場として開放し、牧場にある資源を有効的に活用した体験学習や酪農体験交流を通じて農業、酪農、地域自然環境等を学ぶことができる牧場のこと。(社)中央酪農会議が中心となって、平成13年度に酪農教育ファーム認証牧場制度が始まり、清水牧場は、当初から参加し、酪農教育ファーム認証を受けて8年経過している。

#### 酪農教育ファームファシリテーター

(社)中央酪農会議が、定めた規定・条件をクリアし、情熱を持って酪農教育ファームの活動を行う「人」を認定する制度。

執筆・取材協力

農業経営課、西三河農林水産事務所農業改良普及課

Copyright © 2010, Aichi Prefecture. All right reserved.